



夜間講座 2022- I 「就学前の特別支援教育」

障害告知について考える

講師 松本恵美子 (関西国際大学 准教授)



オンライン 開催あり

ビデオ会議システム zoom

によるリアルタイム配

信

受講料

8,000 円(全 4 回分)

※事前入金制 (お申し込み後、
口座をお知らせいたします。)

申込締切 6 月 9 日(木)

2022 年 6/14(火)・21(火)・28(火)

7/5 (火) <全 4 回>

時間 : 19 : 00 ~ 20 : 30 (受付 18 : 30~)

場所 : 関西国際大学尼崎キャンパス 301KUIS ホール

様々な方から、発達障害児に対して、いつどのように障害を告知すればいいのかという質問を受けます。障害告知に定型はないといわれていますが、少なくとも、発達障害児自身が自分の事を知りたいと感じ始めたときに、自身を理解してうまく生きていけるように、必要な情報を提供すべきと思います。そしてその前提として、保護者自身が子どもの障害を理解して受け止めることができるようになっていることが必要とされます。

今回は発達障害児の親・子がそれぞれに障害を理解し、それぞれが障害と共に歩み始めるための支援について考えてみたいと思います。

対象・定員

教員、保育士の方を中心に

興味のある方ならどなたでも

・対面 80 名 (先着)

・オンライン 200 名

・受講者に対し、アーカイブ配信
予定

大学 HP の公開講座

「申込フォーム」から

お申込み下さい



| 回 | 日程 | 主題 | 内容 |
|---|---------|----------------|--|
| 1 | 6/14(火) | 障害告知とは | 障害告知とは何か。誰がいつどのように行うのか等、その概要についてみてみます。 |
| 2 | 6/21(火) | 発達障害児への障害告知の意義 | 障害告知をすることにどのような意義があるのかについて考えます。 |
| 3 | 6/28(火) | 保護の障害の受け入れについて | 保護者自身、我が子の障害をどのように受け止めていくのかそのプロセスについて学び、保護者への障害告知について考えます。 |
| 4 | 7/5(火) | 周囲への障害告知の意義 | いつどのように、周囲に障害の事を伝え、共に生きる場を作っていくのかを考えます。 |

KUISs 関西国際大学
Kansai University of International Studies

社会連携課

(尼崎キャンパス)

〒661-0976

兵庫県尼崎市潮江 1-3-23

☎06-6496-4103

e-mail : kouza@kuins.ac.jp

※感染症拡大等の状況により、オンライン開講のみに変更する場合があります。ご理解の上、お申込みください。